

from the world

世界の国から

ザンビア共和国

Republic of Zambia



モーゼス・ムワナカトウェ氏

ザンビア開発庁 (ZDA) 投資促進官

Mr. Moses Mwanakatwe

Investment Promotion Officer

Zambia Development Agency (ZDA)



メービス・ブク氏

ザンビア開発庁 (ZDA) 投資促進官

Ms. Mervis Bbuku

Investment Promotion Officer

Zambia Development Agency (ZDA)



首都 ルサカ
面積 約75万2千平方キロメートル (日本の約2倍)
人口 1293万人 (2010年、世銀統計)
政体 共和制
元首 マイケル・チルファ・サタ大統領
言語 英語
通貨 ザンビア・クワチャ

民主的で安定した成長を遂げる国

南部アフリカのハブ

南部アフリカの中央に位置するザンビアは、独立以来政治的に安定、アフリカでもっとも平和な国の1つとされています。経済的にも過去10年間安定した成長を続けています。今回はザンビアの投資案件を日本のビジネス界に紹介し、投資を促すことを目的に来日しました。

ザンビアは内陸国ですが、南部アフリカ開発共同体 (SADC) 8か国と国境を接し、南部アフリカのハブとしての役割を担っています。人口は1300万人ほどですが、SADC諸国を含めると2億6千万人の巨大市場となります。さらに、東南部アフリカ市場共同体や、無関税で多くの品目の貿易ができる米国やEU諸国を含めると市場規模はさらに大きくなります。

ルサカのショッピングモール (写真提供: 桐生 明文)



さまざまな投資案件を紹介

ザンビアの交通インフラは、既存の鉄道や道路が近隣諸国への輸送網としてすでに機能しているものの、今後さらなる整備が求められています。エネルギー産業も有望です。これまでは水力発電による電力を近隣諸国に輸出してきましたが、国内需要増加に加え、施設が老朽化してきたため需給が逼迫、新たな発電所の建設が急がれています。ザンビアは南部アフリカ最大量の水資源を保有しており、新規の水力資源開発の余地は充分にあります。また、農業も重要な産業で、特に近年は農産物を加工し付加価値をつけて輸出することに力を入れています。優れた加工技術を持つ日本企業には大きなビジネスチャンスがあります。

魅力的な投資環境

積極的な投資誘致をはかるため、ザンビア政府は魅力的な投資優遇策を講じています。法人税の減免措置のほか、輸入資材・設備等への免税措置があります。また、外国為替や利益・金利・配当などの本国送金にも制限はありません。



ヴィクトリア滝 (写真提供: Hello World! 世界一周旅行)

識字率は80%を超えており、熟練した労働力を確保することも容易です。公用語は英語ですから、コミュニケーション面の心配もありません。

近代的な住居やホテル、ショッピングモールなどが多数あり、日常生活で不便を感じることもないでしょう。気候は比較的温暖で、夏場でも日本ほど暑くならず、冬に気温が零度以下になることもありません。食事バラエティーに富んでおり、西洋料理や中華料理なども楽しめます。治安も良好です。

ザンビアは1964年の独立以来、JICAなどを通して日本から多くのサポートを受けてきました。これからは日本の民間企業の皆さんとの交流を図ることにより、日本の進んだ技術だけでなく、労働倫理や時間の管理などを含めたビジネスのスキルや知識、ノウハウも導入していきたいと考えています。